

# 2020年度 新型コロナウイルスに伴うボランティア受け入れ状況に関するアンケート結果報告

調査内容と目的：新型コロナウイルスに伴うボランティアの受け入れ状況の把握や活動の現状、課題についてアンケート調査を行いボランティアセンターの支援のあり方や取り組みの参考にする。特にオンライン講座の実施についての参考とする。

回答方法：メール・FAX等

開始日：2020年6月26日

回答期限：2020年7月20日

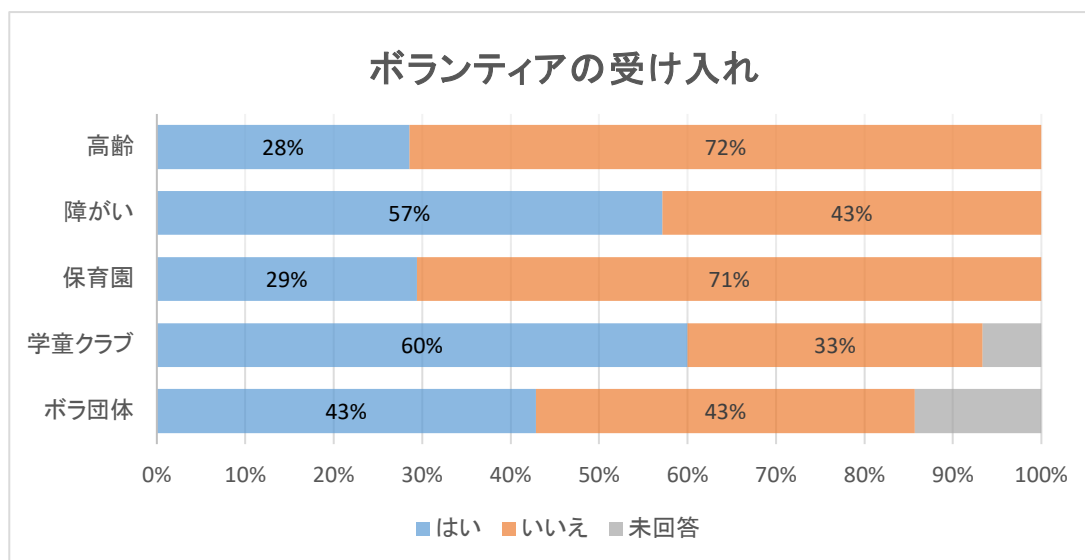
対象数：市内の福祉関係法人・団体245団体

回答数：125団体（高齢42団体、障がい28団体、児童34団体、学童14団体、その他7団体）

回収率：51.0%

Q1 現在、ボランティアの受け入れはおこなっていますか。

	はい	いいえ	未回答	合計
高齢	12	30	0	42
障がい	16	12	0	28
保育園	10	24	0	34
学童クラブ	9	5	1	15
ボラ団体	3	3	1	7



Q2-1 Q1で「はい」と答えた方は、どのような活動内容のボランティアを受け入れていますか？

**【共通】**

- 屋外作業（庭、畑の手入れ、草取り等の作業）。
- 清掃等の環境整備。

**【高齢】**

- 趣味活動、レクリエーションの補助、リード。
- 食器洗い、ドライヤーなど身の回りのお手伝い。
- デイサービスのプログラムを最少人数で短時間（1h程度）で実施している。
- イベント行事での団体ボランティアの受け入れ。
- ピアノ演奏、ハーブ演奏。
- 配膳、下膳、お茶出し。
- 傾聴。

**【障害】**

- 昼食づくりなどの生活支援補助。
- 作業の下準備や木工作业。（ボランティアさん単独。）
- ミシンなど軽作業。
- 定期的な音楽演奏や催し（紙芝居、ゲーム他）。
- プログラム（書道、陶芸等、アニマルセラピー等）への参加、お手伝い。
- 教員初任者研修ボランティア。
- 中学生職場体験ボランティア。
- レスパイト時の利用者の見守り補助。
- 傾聴。

**【児童】**

- 保育補助。
- 保育体験。
- 送迎時の駐車場誘導。

**【学童】**

- 遊び相手、見守り。
- 学童保育補助。
- 受付補助。
- イベント準備、手伝い。

**【ボラ団体】**

- お世話人の方々。移動車の運転者含む。
- 定例の清掃活動。

Q2-2 Q1で「いいえ」と答えた方は、再開を考えていますか。

■再開を考えている

#### 【共通】

- ・7月～9月、また秋頃。
- ・新型コロナウイルス感染症の終息状況による。

#### 【高齢】

- ・来年4月頃。
- ・再開時期未定。
- ・家族面会が通常に戻った時期に受け入れの再開を考えている。

#### 【障がい】

#### 【児童】

- ・現時点では未定。

#### 【学童】

- ・受入れ状況が整い次第。

### ■再開を考えていない

#### 【共通】

- ・新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら検討。

#### 【高齢】

- ・リスクが高く感染予防が必要。
- ・ワクチンや治療薬が安定供給されるまでは面会も見合わせている為。
- ・面会制限等も行っている為、それが解除になってから検討したい。

#### 【障がい】

- ・事業、行事活動が縮小している為。
- ・分散活動によるスタッフ不足。
- ・施設入所の為、外部の方の出入は制限している。
- ・これまでもボランティアを受け入れていない為。

#### 【児童】

- ・新型コロナウイルス感染症防止の為。
- ・今までも受け入れていない。
- ・再開したいが時期がはっきりしない為。

#### 【学童】

- ・大規模クラブのためボランティアに細やかな対応ができない。
- ・ゆくゆくは再開したい。

#### 【小フウ

- ・例年ボランティアの受け入れは夏のイベントのみの
- ・コロナ受け入れしている為、院内感染を起こさないよう医療従事者の対応のみ。

### Q3.コロナ禍でボランティア受け入れる際の工夫点等

#### 【共通】

- ・感染予防対策の徹底。（検温、手洗い、うがい、手指消毒、マスク着用、フェイスシールド等）
- ・来所前、来所時の検温の体調確認や、氏名・来所時間の記入を行っている。
- ・換気や施設内消毒などの衛生管理。
- ・密にならないようソーシャルディスタンスの確保。
- ・受入れ人数の制限。

#### 【高齢】

- ・ボランティア活動の種類と内容を考慮して、段階的に再開している。
- ・感染対策委員会や運営会議で検討中。

- ・医療関係以外は全て断っている。

#### 【障がい】

- ・施設内の状況や感染予防対策の説明。
- ・実習生受け入れ時の事前の体調確認と、実習中の体調不良における中断基準について学校側との協議の上、共有。
- ・全ての面会、外出、ボランティア、実習生等の受け入れ中止。

#### 【児童】

- ・感染対策に気を付けてい頂ける方を受け入れる。
- ・長期ボランティア希望の学生は健康診断を受けてもらう。
- ・ボランティアは別室で食事をとってもらう。
- ・日々の過ごし方に留意する。（日常生活でのコロナに対する心構え、戸外での人ごみ接触等への注意など。）
- ・園内には保護者、関係業者も入っていない為受け入れていない。

#### 【学童】

- ・2週間以内に感染拡大している国や地域への渡航歴のある方は控えてもらう。

#### 【ボラ団体】

- ・草刈り用具等は極力複数人の使い回しはしない。
- ・熱中症にも十分留意する。自由に補水してもらう。

### Q4.コロナ禍でのボランティア受け入れにあたり困っている点・今後の課題は？

#### 【高齢】

- ・双方の感染リスク。
- ・決まった施設のみで活動されている方であれば安心だが、色々な施設に行かれている場合、感染リスクを考えると受け入れが難しい。
- ・受け入れ時の健康面の基準、ボランティア中に体調を崩した時の対応等ルールを決める必要がある。
- ・どの程度の人数が密なのか、感染リスクが上がるのか、適性人数等の基準を知りたい。
- ・物品の用意など。
- ・感染対策は実施しているが、触れ合う機会の多さ、利用者との距離感に不安を感じる。
- ・感染リスクが高いと思われる人気のプログラム（コーラス、麻雀など）へ、どの様にボランティアを受け入れるかが課題。
- ・状況を把握しながら再開の目途を立てるのが今後の課題。
- ・どこまでの感染対策が必要となるか。
- ・個人ボランティアを受け入れたとして、集団ボランティアの受け入れは可能なのかの判断。
- ・本格的に受け入れ再開した時にボランティアに又来てもらえるのかが心配。
- ・感染有無について確実に確認することができないのが課題。
- ・ご本人含む家族の渡航歴や濃厚接触者の有無、健康状態の確認を徹底し、受け入れを検討。

#### 【障がい】

- ・お互いがコロナの感染元となりうる不安があり、受け入れは慎重にならざるを得ない。しばらく

受け入れは困難。

- 高齢のボランティアの安全面を考えると受け入れを中止するべきか。
- ボランティア当日以外の日常の体調管理や感染予防を強く要請できない為、感染リスクが高まる可能性がある。
- 十分な感染予防環境・衛生資材が整った上での受け入れが必要。
- 密を避けて作業できるスペースがない。
- 事業所独自実施の新型コロナウイルス対策への理解を促すようなリスト作成が課題。
- 事前説明をし、ボランティアの了承を得るようにしていきたい。
- 社協からガイドラインを示してもらえるとありがたい。
- PCR検査の情報が必要。
- ボランティアの減少が不安。
- ボランティアが必要な行事の実施が難しくなる。

#### 【児童】

- 来園1週間前程度の健康観察・体温測定カード等の提出をお願いする。
- 受け入れ再開した際、今まで通りで良いのか。新たなガイドラインの作成が必要か。
- 食事など感染リスクの高い部分は関わりを持たない方がいいのか？など、どこまでの関わりをOKにするかが課題。
- 受け入れをいつから再開するか検討中。
- 保護者の入室も制限しているので外部の受け入れは控えたい。
- 夏季のマスク着用での仕事はボランティアの熱中症が心配。
- 夏のボランティアのように、1～3日程度の日替わりで来園するような活動は受け入れに抵抗がある。
- 若者に対して懸念が正直ある。
- 「抗原検査・抗体検査・PCR検査等」の結果提出を求めている。
- ボランティアに入る以前の状況等が不安。（体調や濃厚接触等ないか。）
- 3密を避けられないことを理解の上で来て頂くこと。
- 他園がどのような所に配慮しているかを知りたい。

#### 【児童】

- 3密が避けられない為、不特定多数の人の出入りや人を増やすことに不安がある。積極的な受け入れは考えていない。
- 外部からウィルスを持ち込むことがないのか、施設側だけでなく保護者からの目も向けられる部分だと思う。
- 学童自体が3密を避けられない等課題が多く、その状況を理解してボランティアして頂けるかどうか課題。
- 受入れ再開のタイミングをどうするか。
- 身元の確認をどうすべきか。（ボランティアの住所まで確認が必要なのではないか？等）
- 学童内で新型コロナウイルスが発生した場合の連絡方法について。学童もしくはボランティアセンターで示して欲しい。
- 予防意識の高い方がよい。

#### 【小中高生】

小中高生

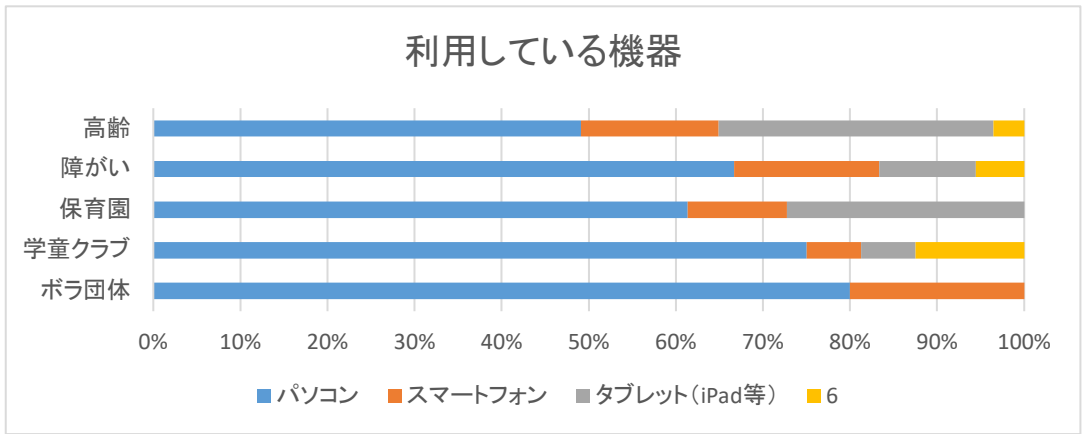
小中高生

小中高生

- 無症状でも感染している若者がいることから高齢者への感染が心配。
- ボランティア実績が優先の、自己管理不十分な若者の参加は困る。
- 現状では体温計や消毒液の準備がないので備え付けが必要。

Q5.利用している機器を教えてください。

	パソコン	スマートフォン	タブレット (iPad等)	利用していない
高齢	28	9	18	6
障がい	24	6	4	2
保育園	27	5	12	2
学童クラブ	12	1	1	0
ボラ団体	4	1	0	2



## Q6.オンライン機器での作業内容

### 【高齢】

- Zoom、LINE、Skype等を運用したオンライン会議。
- Zoom施設見学会。
- オンライン面会。
- 事務作業全般。（書類作成、給付管理、介護保険請求事務等）
- 利用者のケア記録、各種管理業務。
- メールでのやり取り。
- 映画や動画鑑賞、音楽を流す等、利用者のクリエイションに活用。

### 【障がい】

- 書類作成等の事務作業全般。
- リモート会議。
- オンライン面会・面談。
- メール。
- YouTubeで音楽や映像を出して活動に取り入れている。
- 利用者向けPC教室開催。
- 職員及び利用者が通信手段として使用。

### 【児童】

- 業務全般。（書類作成、管理業務等）
- リモート会議。
- 写真、動画の整理等。
- メール送受信。
- 園児情報の管理など。
- 研修・朝礼。
- 登園、降園のタッチパネル。
- Twitter。

**【学童】**

- 事務作業。（文書・おたより作成、勤怠管理、消耗品注文等）
- メール送受信。
- インターネット。
- 子ども達が遊びで使用。

**【ボラ団体】**

- 連絡、通信手段。
- ブログ、SNSの更新。
- 各種資料作成、修正等。
- リモートによる打ち合わせ。
- 会員相互の連絡、通信。

**Q7 学ぶ機会への参加を希望しますか。**

	はい	いいえ	未回答	合計
高齢	13	26	3	42
障がい	11	10	7	28
保育園	13	12	9	34
学童クラブ	9	2	4	15
ボラ団体	2	3	2	7

**Q8.ご意見・ご要望**

**【高齢】**

- 現状が改善された際には今まで以上に積極的な受入れを考えている。
- 音楽リハビリ、歌、傾聴等のボランティア活動はリモートや窓越し等の環境が必要になるが現在、使用できるZoomやLINEは音楽、歌に関しては質が悪く実現できない。環境整備の必要があるが、そこまではたどりつけない状況。

**【障がい】**

- 今後の参考のためボランティアセンターの今現在の考えを知りたい。
- Q7→必要性がでてきたら学びたい。
- 縫製や農作業をレクチャーしてくれるボランティアをお願いしたい。対策を講じれば可能か等、検討したい。

**【児童】**

- すでにweb会議、Zoom研修等は行っている。Q7の「学ぶ機会」というのは研修会に集まって参加するということですか？
- Q7→内容によっては参加したい。
- 状況が落ち着いたらまたお願いしたい。（4）
- Zoomは会社PCを使用できるが、LINE電話で行えるのか教えてほしい。

- ・状況が落ち着いたら冬休み、春休み期間もボランティアの受け入れ可能。
- ・中学校の職場体験は例年通り受け入れる予定。

**【学童】**

- ・Q7→特別なことを学べるなら参加したいが、一般的な内容なら必要はない。
- ・Q7→仕事で使うのであれば参加したい。
- ・新型コロナウイルスが流行して、ボランティアの受け入れ方や心得等がボランティアセンターで変わったようであれば受け入れ側にも伝えて欲しい。

**【ボラ団体】**

- ・ボランティアの受け入れの要望があれば対応、条件が合えばお願いしている。
- ・従来は積極的に夏ボランティアの受け入れを行ってきたが、持病を抱えて活動している会員もいるので、受け入れには慎重にならざるを得ない。

はい	いいえ
28%	72%
57%	43%
29%	71%
60%	33%
43%	43%